

1. 支部の紹介

中国四国支部は、日本応用地質学会の支部として、中国四国地方における応用地質に関する調査・研究の推進と技術の進歩・普及および会員相互の交流を図ることを目的として、平成6年2月に設立されました。当支部は、中国地方の5県（鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県）と四国地方の4県（香川県・愛媛県・徳島県・高知県）より構成されています。支部の主な活動は、講演会、研究会、見学会などの開催などで、本部および各支部との連携や情報交換、関連学会との協力をすすめています。



中国四国地方の衛星写真 (Google Earth より)

2. 支部のあゆみ

- 【Ⅰ】創設期（平成5年度～平成6年度）：羽原支部長
～中国四国における“応用地質”の核の誕生～
 - ・支部の設立
 - ・体制等の基盤づくり（会員、賛助会員募集、役員依頼）
- 【Ⅱ】発展期（平成7年度～15年度）：三浦支部長・佐田支部長
～支部体制が確立し、大規模災害でも大きな貢献～
 - ・体制の確立、行事の定着
 - ・支部会則の改正（見直し・充実化、H11・H12）
 - ・大規模災害への対応（H11 広島呉豪雨、H12 鳥取県西部地震、H13 芸予地震など）
 - ・HPの開設（H13）
 - ・大幅な支部組織改正（本部－支部の明確化、支部単体会員の廃止、H14 支部規程改正）
 - ・2回の全国大会（H8 広島、H14 高松）、10周年記念行事（H15）
- 【Ⅲ】充実期（平成16年度～19年度）：横田支部長
～さまざまな新しい取り組みによる支部の活動の充実～
 - ・役員会、委員会の充実
 - ・技術委員会の設置、活動（トンネル事前地質調査研究委員会、H16～18）
 - ・頻発する豪雨・台風災害への対応
 - ・ポスターセッション、表彰制度の導入
 - ・メール化の推進（約83%）、HPの更新・充実
 - ・他の団体との連携、協力（中国・四国地質調査業協会など）
- 【Ⅳ】変革期（平成20年度～）：長谷川支部長
～厳しい時代を乗り越えるための変革を進めよう！～
 - ・応用地質学の文化への貢献
 - ・地域住民との交流促進
 - ・支部15周年記念行事、本部50周年記念行事、全地連e-フォーラムでのアピール

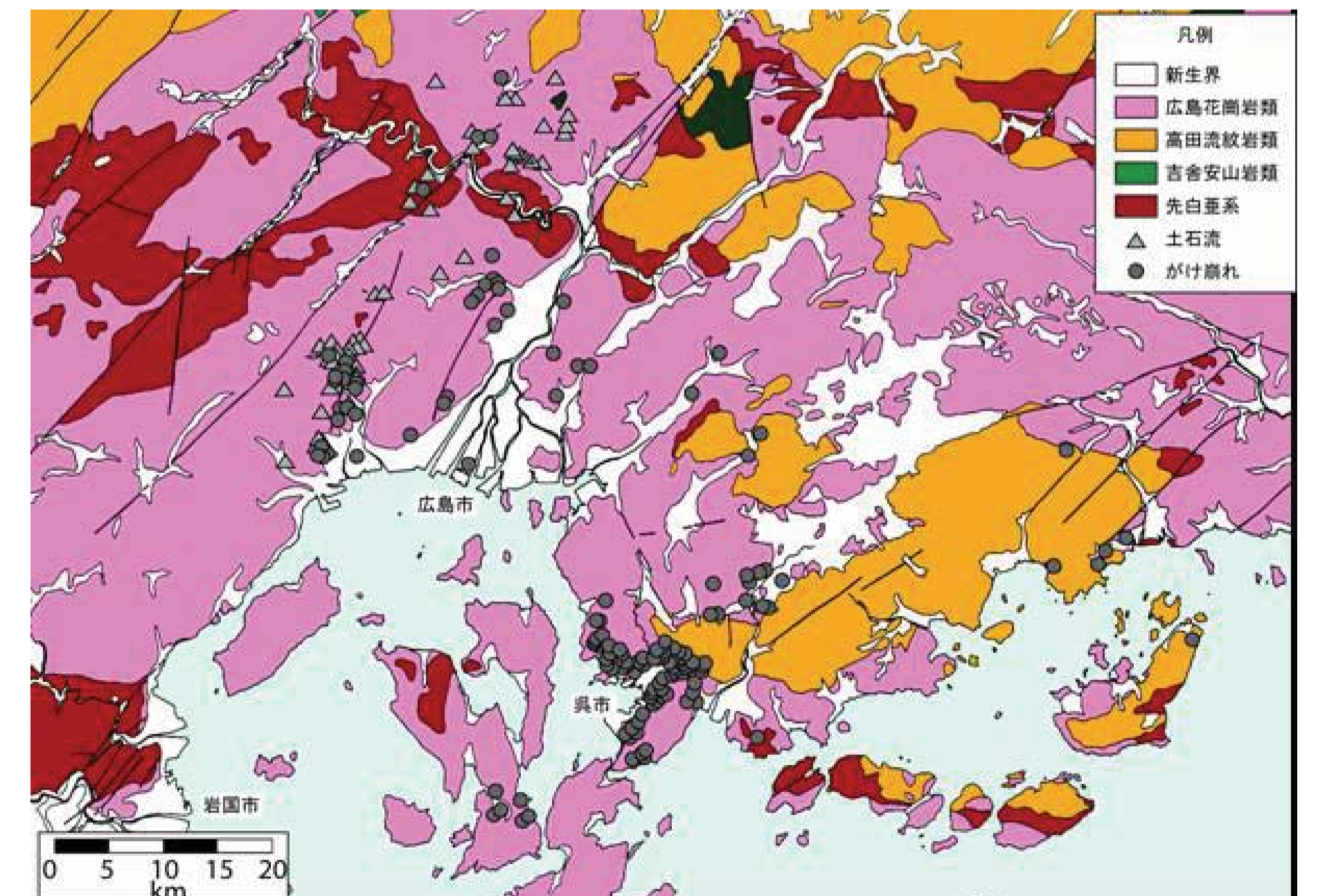
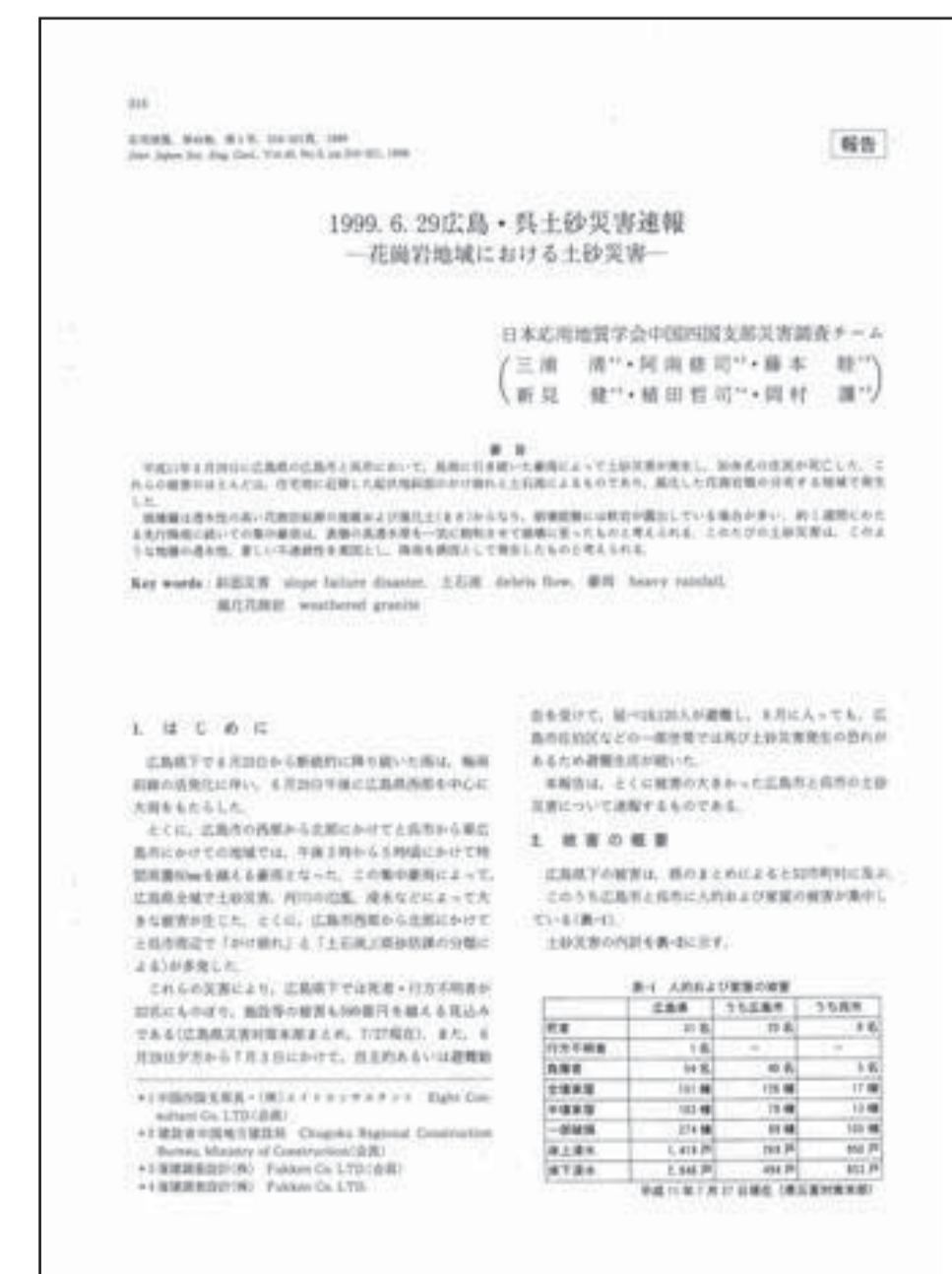
3. 支部の活動

支部の主な活動は、春の総会と講演会、秋の研究発表会と現地見学会を毎年行っています。



4. 支部の災害調査の公表事例

鳥取県西部地震や芸予地震等の災害発生時には、支部会員または支部調査団による災害調査や復旧対策への取り組みが行われてきました。



「1999.6.29 広島・呉土砂災害速報：花崗岩地域における土砂災害」
日本応用地質学会中国四国支部災害調査チーム：
(三浦清 阿南修司 藤本睦 新見健 植田哲司 岡村護)
(応用地質、1999.12月号に掲載)